

ていおうせっかい　　ますい

# 帝王切開の麻酔のながれ

しゅじゅつ まえ た の  
手術の前は、食べたり飲んだりできません。



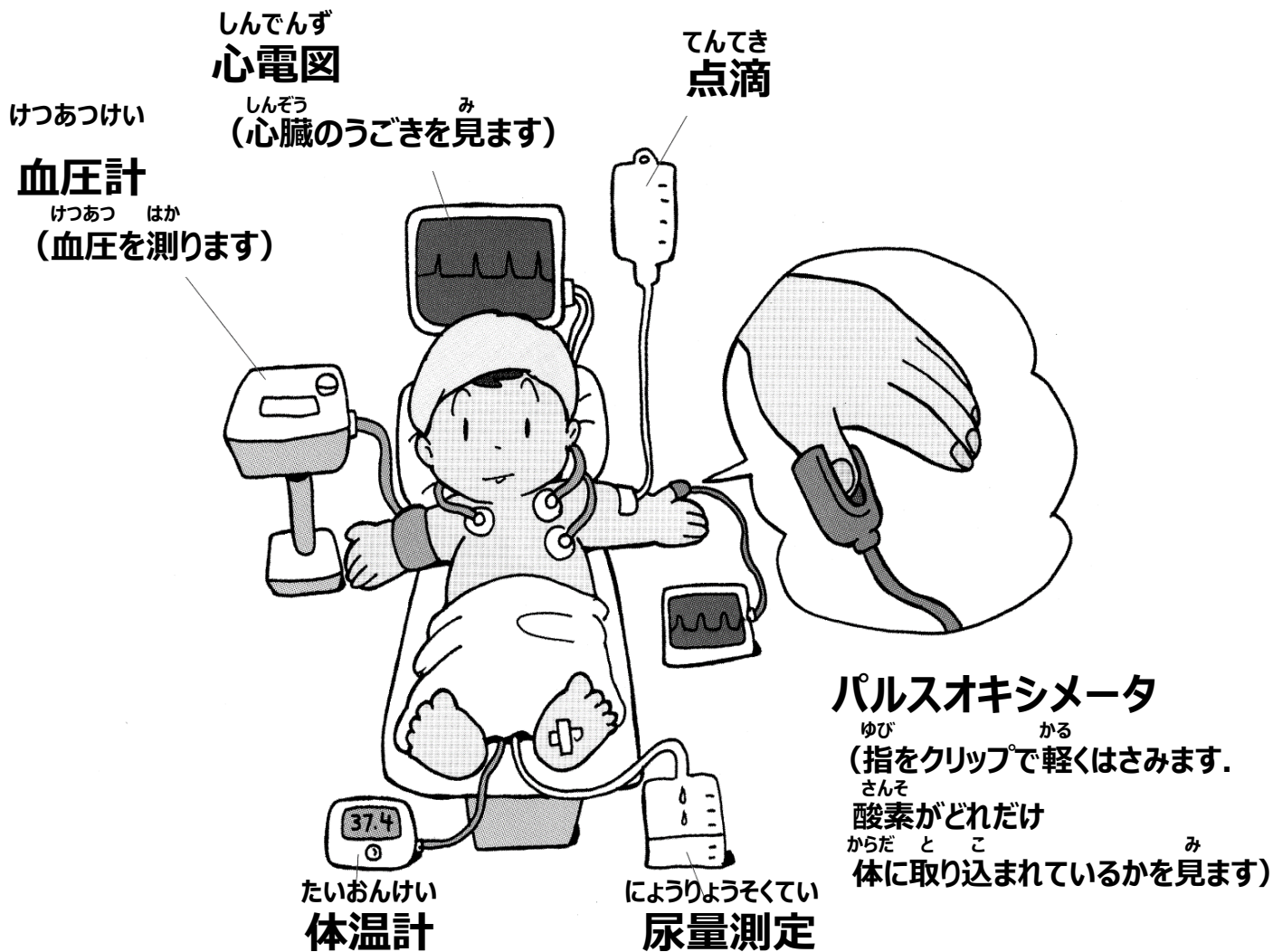
た の い なか のこ じょうたい ますい  
食べたり飲んだりしたものが、胃の中に残っている状態で麻酔をかけると  
い なか ぎゃくりゅう はい なが おも はいえん お  
胃の中のものが逆流して肺に流れこみ、重い肺炎を起こすことがあります。  
かなら せいげん  
必ず制限をまもってください。

あす ぶん だ の  
明日の分のおくすりは、出されたものだけ飲んでください。

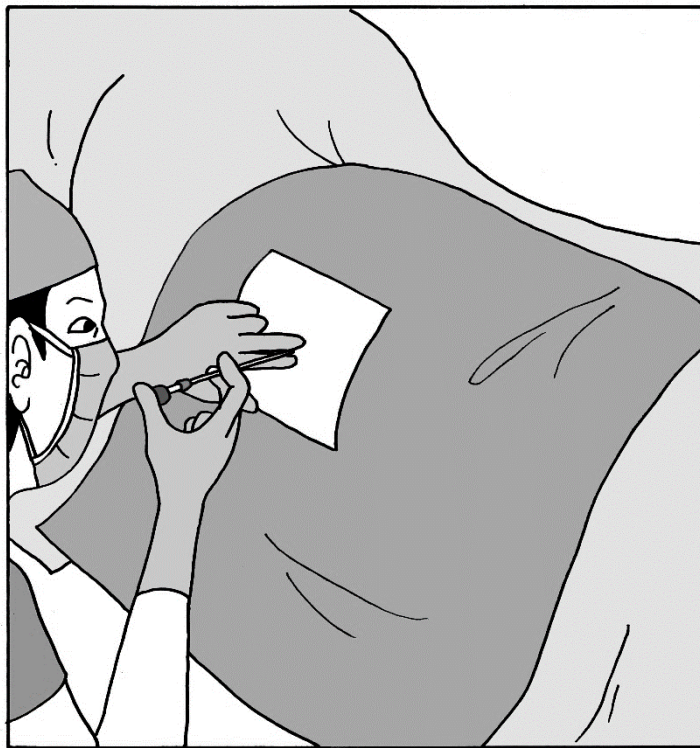


しゅじゅつ さい けつあつ さ ち と  
手術に際して血圧が下がったり、血が止まりにくくなるおくすりがあります。  
わたし かんじゃ の  
私たちは、患者さんがどんなおくすりを飲んでいるかわかっていますので、  
しんぱい  
心配しないでください。

しゅじゅつしつ はい しんでんず けつあつけい  
**手術室に入ったら、心電図や血圧計などのモニターをつけて**  
 てんてき  
**点滴をとります。** (点滴は、入室前に病室でとることもあります)



ていおうせっかい つうじょう せなか しゅるい ますい おこな  
帝王切開では通常、背中から2種類の麻酔を行います。



こうまくがいますい せきずい まくかますい  
「硬膜外麻酔」と「脊髄くも膜下麻酔」です。

こうまくがいますい おこな

はじめに硬膜外麻酔を行います。

しゅじゅつご いた と のぞ しよち

これは、手術後の痛みを取り除くための処置です。

ほそ  
細いカテーテル  
くだ せなか  
(管) を背中に  
い  
入れます



とお いた ど くすり とうよ  
カテーテルを通して痛み止めの薬を投与します

お じょうたい おこな よこむ ひざ  
起きている状態で行います。横向きになって、膝をかかえ、  
ネコのようにまるくなってください。



せなか つ だ ほう はや お  
背中を突き出すようにしてください。その方が早く終わります。

いた ど つか はり さ

じゅうぶんに痛み止めを使いながら針を刺していきます。





# カテーテルはやわらかいのであまり<sup>き</sup>気になりません



ふく  
ん

しゅじゅつ

手術のあと、

カテーテルにポンプをつないで

いたど

痛み止めのくすりを

じぞくてき とうよ

持続的に投与します

あおむ

じっさい

よこむ

しよち おこな

イラストでは仰向けになっていますが、実際には横向きのまま処置を行います。

せきずい まくかますい おこな

つぎに脊髄くも膜下麻酔を行います。

しゅじゅつちゆう いた と のぞ しよち

これは、手術中の痛みを取り除くための処置です。

こうまくがいますい すこ した  
硬膜外麻酔の少し下の

せぼね ま  
背骨のすき間に

ちゆうしゃ  
注射をします



じゅうぶん  
いた ど つか  
痛み止めを使います

せきずい まくかますい こうか あらわ  
脊髄くも膜下麻酔は、すぐに効果が現れます。



いた かん しゅじゅつ はじ  
痛みを感じなくなったら手術を始めます。  
お さわ かんかく のこ  
押されたり触られたりする感覚は残っていることがあります。

きほんてき しゅじゅちゆう お

**基本的に手術中は起きています。**

あか

じょうたい

めんかい

**(赤ちゃんの状態がよければ面会できます)**

てんてき

点滴から

ねむ

眠るくすりを

ちゅうしゃ

注射する

こともあります



あか

めんかい

お

あと

むね

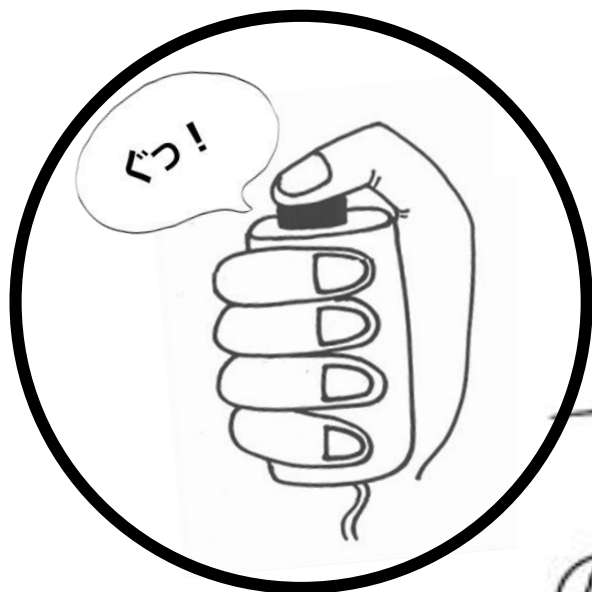
あっぱく

かん

しょう

**赤ちゃんとの面会が終わった後、胸が圧迫される感じが生じることがあります。**

しゅじゅつご いた                      じぶん いた ど                      ちょうせつ  
手術後，痛いときには自分で痛み止めを調節できます



きぶん わる                      いた らく                      かんごし つた  
気分が悪くなったり，痛みが楽にならないときには，看護師にお伝えください。

あいだ あし のこ  
しばらくの間、足のしびれが残ります。



こうまくがいますい えいきょう  
硬膜外麻酔の影響でもしびれがみられることがあります。

ずつう で かんごし つた  
**頭痛が出たら看護師に伝えてください**



つうじょう しぜん なお      いた つよ      しょう ひつよう  
**通常は自然に治りますが、痛みが強ければ処置が必要となります。**

しゅじゅつちゆう やくざい しょう にゅうじゅう いこう  
手術中にはさまざまな薬剤を使用します。乳汁に移行する  
やくざい じゅにゅう あか えいきょう およ かのうせい  
薬剤もありますが、授乳で赤ちゃんに影響を及ぼす可能性  
きわ ひく あんしん  
は極めて低いので安心してください。

